

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月13日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	OUGホールディングス株式会社
【英訳名】	OUG Holdings Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷川 正俊
【本店の所在の場所】	大阪市福島区野田二丁目13番5号
【電話番号】	06(4804)3033
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営基盤グループ 中江 一夫
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区野田二丁目13番5号
【電話番号】	06(4804)3033
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営基盤グループ 中江 一夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期 連結累計期間	第69期 第2四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (百万円)	148,801	154,666	312,474
経常利益 (百万円)	213	183	1,955
四半期(当期)純利益又は四半期純損失() (百万円)	43	87	1,662
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	183	154	1,642
純資産額 (百万円)	15,170	16,424	16,601
総資産額 (百万円)	74,761	78,137	69,019
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	0.79	1.60	30.43
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	20.3	21.0	24.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,376	2,453	327
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	346	506	393
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,925	3,197	253
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	1,981	2,206	1,966

回次	第68期 第2四半期 連結会計期間	第69期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	4.46	0.33

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、第68期第2四半期連結累計期間及び第68期は、潜在株式が存在しないため、第69期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動は、以下のとおりであります。

(その他)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことに伴い、(株)モトイを連結子会社にしております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の消費反動減がありましたが、企業収益や雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、天候不順や円安の影響によるエネルギー資源の高騰等もあり、先行き不透明となっております。

個人消費は、回復基調が見られるものの個人消費に関わる商品やサービス等の価格上昇により節約志向が依然として続く中、消費行動は多様化してきております。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は円安及び国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,546億66百万円（前年同四半期比103.9%）となりました。損益面では、売上総利益は102億64百万円（前年同四半期比97.9%）となり、営業利益1億11百万円（前年同四半期比56.1%）、経常利益1億83百万円（前年同四半期比86.1%）、四半期純損失87百万円（前年同四半期は四半期純利益43百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高995億35百万円（前年同四半期比106.0%）となりましたが、仕入コストの上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント利益2億27百万円（前年同四半期比45.6%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売単価は上昇したものの販売数量の減少により売上高543億50百万円（前年同四半期比99.5%）、仕入コストの上昇及び市況の変動などによる売上総利益率の低下によりセグメント損失3億59百万円（前年同四半期はセグメント損失2億36百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売数量は減少したものの販売単価の上昇などにより売上高30億81百万円（前年同四半期比125.5%）、餌料価格の上昇から生産コストは上昇しましたが、売上高の増加によりセグメント利益1億82百万円（前年同四半期はセグメント損失85百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、鮭鱒等の原料事情の悪化を主因とする販売数量の減少などにより売上高22億79百万円（前年同四半期比99.7%）となり、原材料価格の上昇など利益率の低下によりセグメント損失84百万円（前年同四半期はセグメント損失72百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少などにより売上高8億94百万円（前年同四半期比86.9%）、セグメント損失42百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、当期より連結子会社を1社増加したことなどにより売上高24億17百万円（前年同四半期比106.1%）、セグメント利益17百万円（前年同四半期比59.3%）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて91億17百万円増加し、781億37百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加59億3百万円、受取手形及び売掛金の増加22億48百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて92億94百万円増加し617億12百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加55億62百万円、借入金の増加38億90百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億77百万円減少し164億24百万円（自己資本比率21.0%）となりました。主な要因は、配当金の支払3億33百万円などによる利益剰余金の減少4億33百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億64百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、新規連結に伴う資金の増加2百万円を含め、前連結会計年度末と比べて2億40百万円増加し、22億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは24億53百万円の支出（前年同四半期33億76百万円の支出）となりました。仕入債務の増加54億72百万円（前年同四半期17億92百万円の増加）がありましたが、売上債権の増加21億28百万円（前年同四半期7億36百万円の減少）及びたな卸資産の増加58億97百万円（前年同四半期59億85百万円の増加）が主な資金の減少要因となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは5億6百万円の支出（前年同四半期3億46百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出4億3百万円（前年同四半期2億89百万円の支出）が主な資金の減少要因となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは31億97百万円の収入（前年同四半期39億25百万円の収入）となりました。ファイナンス・リース債務の返済による支出3億78百万円（前年同四半期3億65百万円の支出）及び配当金の支払3億31百万円（前年同四半期3億27百万円の支払）がありましたが、借入金の増加による純収入38億90百万円（前年同四半期46億19百万円の純収入）が主な資金の増加要因となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	209,159,000
計	209,159,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	55,622,921	55,622,921	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	55,622,921	55,622,921	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	55,622,921	-	6,495	-	6,144

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
マルハニチロ株式会社	東京都江東区豊洲三丁目2番20号	7,450	13.39
日本生命保険相互会社	大阪市中央区今橋三丁目5番12号	3,463	6.23
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町一丁目13番2号	2,636	4.74
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町一丁目5番5号	2,000	3.60
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町二丁目2番1号	1,842	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	1,742	3.13
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	1,519	2.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,150	2.07
丸大食品株式会社	大阪府高槻市緑町21番3号	1,150	2.07
株式会社丸徳水産	徳島県海部郡牟岐町大字中村字大谷122番地1	1,003	1.80
計	-	23,956	43.07

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式は全て信託業務に係るものであります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 62,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,004,000	55,004	-
単元未満株式	普通株式 556,921	-	-
発行済株式総数	55,622,921	-	-
総株主の議決権	-	55,004	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
OUGホールディングス(株)	大阪市福島区野田二丁目13番5号	62,000	-	62,000	0.11
計	-	62,000	-	62,000	0.11

(注) 1. 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が1,000株(議決権の数1個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2. 従業員持株E S O P信託が保有する当社株式838,000株(議決権の数838個)については、上記自己株式に含まれておりません。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,971	2,211
受取手形及び売掛金	26,461	28,710
商品及び製品	18,352	24,156
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	202	302
その他	1,091	1,397
貸倒引当金	259	276
流動資産合計	47,822	56,502
固定資産		
有形固定資産	11,291	11,332
無形固定資産	3,409	3,419
投資その他の資産		
投資有価証券	5,544	5,935
その他	1,870	1,699
貸倒引当金	918	752
投資その他の資産合計	6,496	6,882
固定資産合計	21,197	21,634
資産合計	69,019	78,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,349	23,911
短期借入金	16,315	20,635
1年内返済予定の長期借入金	1,842	1,766
未払法人税等	157	182
賞与引当金	649	621
その他	3,554	3,570
流動負債合計	40,867	50,688
固定負債		
長期借入金	6,417	6,064
退職給付に係る負債	2,436	2,381
役員退職慰労引当金	102	76
その他	2,592	2,500
固定負債合計	11,550	11,024
負債合計	52,417	61,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	3,765	3,332
自己株式	183	167
株主資本合計	16,168	15,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	1,057
繰延ヘッジ損益	3	1
土地再評価差額金	337	337
退職給付に係る調整累計額	26	44
その他の包括利益累計額合計	431	673
少数株主持分	2	-
純資産合計	16,601	16,424
負債純資産合計	69,019	78,137

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	148,801	154,666
売上原価	138,317	144,402
売上総利益	10,484	10,264
販売費及び一般管理費	1 10,285	1 10,153
営業利益	198	111
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	87	88
その他	104	144
営業外収益合計	194	235
営業外費用		
支払利息	152	139
その他	27	23
営業外費用合計	179	163
経常利益	213	183
特別損失		
固定資産除却損	9	-
固定資産売却損	6	-
事務所移転費用	-	11
特別損失合計	16	11
税金等調整前四半期純利益	197	172
法人税、住民税及び事業税	138	180
法人税等調整額	15	79
法人税等合計	153	259
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	43	87
四半期純利益又は四半期純損失()	43	87

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	43	87
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	264
繰延ヘッジ損益	7	4
退職給付に係る調整額	-	17
その他の包括利益合計	139	242
四半期包括利益	183	154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	154

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	197	172
減価償却費	451	415
貸倒引当金の増減額(は減少)	38	36
退職給付引当金の増減額(は減少)	59	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	72
賞与引当金の増減額(は減少)	10	28
受取利息及び受取配当金	89	91
支払利息	152	139
売上債権の増減額(は増加)	736	2,128
たな卸資産の増減額(は増加)	5,985	5,897
仕入債務の増減額(は減少)	1,792	5,472
その他	311	189
小計	3,143	2,244
利息及び配当金の受取額	89	91
利息の支払額	156	146
法人税等の支払額	166	153
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,376	2,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	289	403
投資有価証券の取得による支出	13	16
長期貸付けによる支出	1	18
長期貸付金の回収による収入	11	8
その他	53	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	346	506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	5,040	4,320
長期借入金の返済による支出	420	429
ファイナンス・リース債務の返済による支出	365	378
配当金の支払額	327	331
その他	0	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,925	3,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	202	237
現金及び現金同等物の期首残高	1,779	1,966
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	2
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,981	2,206

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、(株)モトイは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(従業員持株E S O P信託に関する会計処理方法)

当社は、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の拡充、及び株主としての資本参加による当社グループ従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的とし、信託型従業員持株インセンティブ・プランとして「従業員持株E S O P信託」(以下、「E S O P信託」という。)を導入しております。

E S O P信託に関する個別財務諸表の会計処理については、総額法を適用しており、E S O P信託が保有する当社株式は純資産の部に自己株式として表示しております。

なお、総額法の適用により計上されている自己株式の帳簿価額は、前連結会計年度末174百万円(946,000株)、当第2四半期連結会計期間末154百万円(838,000株)、借入金の帳簿価額は、前連結会計年度末174百万円、当第2四半期連結会計期間末145百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
給料及び手当	3,368百万円	3,332百万円
荷造運搬費	1,673	1,611
賞与引当金繰入額	593	565
退職給付費用	179	137
貸倒引当金繰入額	4	32

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,996百万円	2,211百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	14	4
現金及び現金同等物	1,981	2,206

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	330	6.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	333	6.0	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式に対する配当金5百万円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	90,623	53,428	1,763	878	535	147,229	1,571	148,801	-	148,801
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,242	1,221	691	1,407	494	7,057	707	7,765	7,765	-
計	93,866	54,650	2,454	2,285	1,029	154,287	2,279	156,566	7,765	148,801
セグメント利益 又は損失()	499	236	85	72	27	76	29	106	91	198

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額91百万円には、セグメント間取引消去600百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	96,174	53,216	2,345	856	476	153,068	1,598	154,666	-	154,666
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,361	1,134	736	1,422	418	7,073	819	7,892	7,892	-
計	99,535	54,350	3,081	2,279	894	160,141	2,417	162,559	7,892	154,666
セグメント利益 又は損失()	227	359	182	84	42	75	17	58	169	111

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間より、(株)モトイは重要性が増したため、連結の範囲に含めており、「その他」に含めて表示しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額169百万円には、セグメント間取引消去676百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 507百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	79銭	1円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	43	87
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	43	87
普通株式の期中平均株式数(株)	54,633,256	54,677,792

- (注) 1. 当第2四半期連結累計期間の普通株式の期中平均株式数について、その計算において控除する自己株式数に、従業員持株E S O P信託として保有する当社株式(当第2四半期連結会計期間末838,000株)を含めております。なお、当該信託として保有する当社株式の期中平均株式数は、当第2四半期連結累計期間において887,833株であります。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、当第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、前第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

OUGホールディングス株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 高谷 晋介 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 新田 泰生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているOUGホールディングス株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、OUGホールディングス株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。